

短歌・俳句で綴る

# 御代田の四季

「短歌の会」と「御代田風の道俳句会」から寄せられた代表作品です。

## 短歌

ひんやりとどくだみの白残りをり裏庭に草引ける夕暮れ

前田 悦子

わが前を一直線に鬼やんま光り輝き生き生きと飛ぶ

桜井みさを

去年の種こぼれしままに残りて向日葵太し南瓜島に

大井 藤子

## 俳句

当期雑詠

蝉しぐれ喉乾くやろお茶の水

大高 霧海

音軽く芋殻の箸は土間に落ち

石川 政司

歌の如故郷の廢家木槿咲く

石川 弘美

「ぼんさん」に見ゆる高さの門火焚く

内堀 隆久

門に焚く辿れる先祖祖母まで

澤田 勝彦

魂送り亡母の折鶴そへておく

柳瀬 亜湖

先んずれば人を制す

## Man Watching #148

- ◎1 趣味は？  
ジョギング・アウトドア・釣り
- ◎2 おすすめスポットは？  
聖高原(麻績村)
- ◎3 理想の人は？  
信念を持っている人
- ◎4 夢・目標は？  
家庭を持ち、子どもと一緒に龍神を舞うこと
- ◎5 まちづくりに一言  
龍神も含めて、御代田町の良さを全国に広めてほしい



観光協会ホームページに掲載中!!

## みよたん につき

<http://www.miyota.gr.jp/>



今度是小田井宿まつり!

8月16日御代田町の伝統のお祭り「小田井宿まつり」に行ってきました!



みよたんはピンコゲームに参加してきましたよ(^\_^)



子どもたちが、いっぱい集まってくれてとっても楽しかった~! 当たった人は「ピンコ!」って言うわないて「みよたん!」って言うてくれてたね(^o^)ありがとう☆とってもうれしかったよ(^\_^)!

### 自己紹介

御代田のレタス畑で生まれました。農家の人に育てられ、近所の畑の中を散歩しているところ、御代田町観光協会のおじさんにスカウトされました。

- 好きな食べ物  
高原野菜
- 好きなこと  
龍神まつり、レタスの収穫
- 趣味  
やまゆりの栽培、浅間山登山
- 特技  
カーリング
- 友だち  
龍神くん

# Let's try English!

Message FROM  
Paul Wellington Harris  
(中学校AET)  
Vol.167



I was going to write about a different topic, but today something happened to me that made me really happy; I want to share this story with my readers.

One of my old Miyota junior high students dropped by today, she's a second grader at Somiya High and lives in the same neighborhood as I do. I was happy to see her and she asked me if I could help her with her English Debate class homework. I said, "Sure", but was very surprised because she asked me in perfect English! I was surprised again because she said she was in an English Debate class!!

I was very, very impressed with her English ability. I could speak with her naturally. I thought to myself, "Is this same noisy girl I taught in junior high?!" We chatted a while before I looked at her homework. I asked her if she was going to a language school and she said that she wasn't. She told me that she went to California as a 'Foreign Exchange Student' and that she also visited Korea to sightsee. I told her that I was so impressed at how much her English has improved and that it made me happy to see her doing so well, studying hard, and enjoying life.

After she left I started to remember her days in junior high. I remembered she was always joking and clowning around with her friends. I especially remember cleaning time because she used to clean the English Room with me during her 2nd year. They were a bunch of comedians and I always had to say, "Be quiet" or "Let's clean!" But I also remembered that she and another student would always ask me things like, "How do you say such and such in English?" Or, "What does such and such mean?" I always thought they asked me that so they can use it for their joking and playing. But now I realized they were showing interest.

So my old student is learning English well. She reminds me of my wife. They both studied English only in school. They didn't go to a conversation school. But one important thing I noticed about her and my wife is that they didn't just sit in class and do English work. They showed interest in English and made an effort to improve themselves by using English and applying their ability. I think this is important for all school subjects. Just sitting and learning from books is not enough, you have to make an effort to apply the knowledge in life. As a teacher we can only show you the door, it is up to you to open it!



今回は、ほかのことを書く予定でしたが、今日すごく幸せに感じるがあったので皆さんと今からお話することを共有したいと思います。

僕の近所に住んでいる御代田中学校の卒業生で、今は上田染谷丘高校に通っている子が、僕の家に来てくれました。彼女が訪ねてきてくれて本当にうれしかったし、彼女が英語の討論の授業についての宿題を助けてほしいといったときも「もちろん」と引き受けました。しかし、まずびっくりしたのが、彼女が完璧な英語で僕に尋ねたからです。彼女が英語の討論部に所属していると知って驚きました。

僕は彼女の英語力にとても、とても感心しました。違和感なく彼女と話をすることができました。「この子は僕が教えた騒々しい子だったかな?」と思いました。彼女の宿題を見てあげる前にもちょっとおしゃべりをしました。僕は彼女に英語のスクールに通っているのかどうか聞きましたが、通っていないとのことでした。彼女は交換留学生としてカリフォルニアに行ったこと、観光で韓国に行ったことを教えてくれました。僕は彼女の英語の上達ぶりに本当に感心したこと、彼女がとても生活を楽しんでいることが伝わったことを話しました。

彼女が帰った後、彼女の中学時代を思い出しました。僕が覚えているのは彼女がいつも冗談を言ったり、周りの友だちを笑わせていることでした。特に覚えているのは、彼女が2年生のときに英語室の掃除をしたことでした。彼女たちはお笑いのグループのようなもので、僕はいつも「静かに!」とか「さあ、掃除だよ!」と言わなければなりません。しかし、彼女たちが「これってどういう意味?」とか「〜って英語でなんて言うの?」と聞いていたことも覚えています。そのときは、彼女たちがまた冗談や遊びに使うのかと思っていました、彼女たちは興味を示していたのです。

僕のかつての生徒は英語をよく勉強しています。彼女は僕の奥さんを思い出させます。二人とも学校でしか英語を習っていませんでした。英会話教室には通っていませんでした。しかし、彼女や僕の奥さんは、決して教室でただ座って英語の授業を受けていなかったということです。彼女たちは英語に興味を持って、機会がある度に英語を使ってレベルを上げようとしていました。これって全ての教科にとって重要なことだと思います。ただ座って本から学ぶのは十分でなく、努力して知識レベルを上げようとしなければなりません。先生として言えるのは「僕たちはドアを示すだけ。それを開けるかどうかは君たち次第」ということです。